

2016年8月17日

【新刊発売のご案内】

人を動かすマーケティングの新戦略

『行動デザイン』の教科書

著：博報堂行動デザイン研究所

國田 圭作

博報堂行動デザイン研究所は、株式会社博報堂が「人を動かすマーケティング」を研究・実践する新組織として2013年に設立しました。国内外の膨大な事例から抽出した「人を動かす」知見を活用し、生活者のリアルな行動を促す「行動デザイン発想」のプランニングを支援しています。「事業利益を生み出す顧客行動」をゴールとして明確化することで、クライアントのビジネス成果に直結したプランニングを提供することをミッションとしています。

本書は、今までのマーケティングをモノで発想しがちだった「モノ頭」を、「行動頭」に切り替えるためのアプローチ、「マーケティングの新戦略」を解説する本です。「モノ」で思考すると出てこなかった答えが、「行動」で考えると見えてきます。人は、「買う」だけではなく、「持つ」「運ぶ」「しまう」「使う」「捨てる」という行動を介してモノとつながっています。停滞している行動を誘発する、人を動かす「行動デザイン」という発想で、マーケティングをより事業利益に直結するものへと再設計することが可能になります。

最初のパート（第1、2章）は「市場を行動で捉え直す」で、「市場概念」を「モノ」ではなく「行動で捉え直す」という意識変換を促します。その次のパート（第3、4章）は「感覚を行動で捉え直す」で、無意識下の「リスク」や「コスト」という感覚を制御するためのアプローチを解説します。3番目のパート（第5～7章）は「ゴールを行動で捉え直す」で、ゴールを「行動成果」で設定し、そこから逆算してゴール実現のための「行動デザイン」を設計する方法論を解説します。最後のパート（第8章）は「習慣を行動で捉え直す」で、自主研究調査の知見を踏まえながら、行動を「習慣化」させるためのアプローチを解説しています。

今までのマーケティングを、人を、もっと動かす方向に一步踏み出す一助としてお役立ていただければ幸いです。

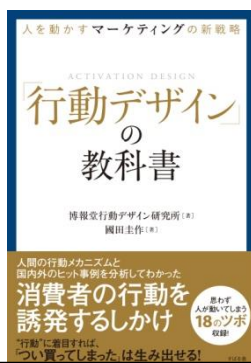
「人を動かすマーケティングの新戦略『行動デザイン』の教科書」

著：博報堂行動デザイン研究所

著：國田 圭作

判型：四六版 ページ数：288ページ 定価：2,500円(税別)

発行：すばる舎 書店発売日：2016年8月17日



目次

- 第1章 なぜ、マーケティングはときどきうまくいかないのか？
- 第2章 マーケティングは、生活者の「行動」をとり合う競争だ
- 第3章 人を動かす「行動デザイン」という発想
- 第4章 リスク感とコスト意識が、行動の鍵をにぎっている
- 第5章 行動を喚起する「行動チャンス」を日常から見つけよう
- 第6章 行動デザインの作り方・6ステップ
- 第7章 行動を誘発する仕掛け
- 第8章 なぜコンビニエンスストアの100円コーヒーは大ヒットしたのか？

著者プロフィール

國田 圭作 博報堂行動デザイン研究所所長

1959年生まれ。1982年東京大学文学部卒業後、博報堂に入社。以来、一貫してプロモーションの実務と研究に従事。

2013年より現職。大手ビールメーカー、大手自動車メーカーをはじめ、食品、飲料、化粧品、家電などのブランドマーケティング、商品開発、流通開発などのプロジェクトを手掛ける。

2006年に行われた第53回カンヌ国際広告祭の部門賞（プロモライオン）で審査員を務める。

共著に『しあわせの新しいものさし』がある。